

九州地域（沖縄県除く）における野生いのしし対策について（案）

今回の佐賀県の野生いのししでの豚熱感染確認を受け以下の対応を行う。

- ①各種対策を有効に実施するため、九州各県の野生いのししにおける豚熱の浸潤状況を把握するため、サーベイランスを強化・徹底。
- ②野生いのししを介した感染拡大の抑制及び環境中のウイルス低減を図るため、佐賀県において野生いのししに対する経口ワクチンの散布を実施。

サーベイランス実施の強化・徹底

- 各種対策を有効に実施するため、浸潤状況を把握することが重要
- このことから、九州各県の野生いのししにおける豚熱の感染状況について、引き続きサーベイランスの実施を強化・徹底

佐賀県における経口ワクチンの散布

- 佐賀県を経口ワクチン散布推奨地域とし、速やかに経口ワクチン散布を実施（緊急散布）
- 佐賀県を除く九州各県においては、経口ワクチン散布体制の再確認

飼養豚では既に初回の豚熱ワクチン接種が完了

九州地域（沖縄県除く）における豚熱経口ワクチン散布体制の整備状況

これまでの取組

○経口ワクチン県協議会の設立

散布の枠組となる県協議会を令和 5 年中に九州全県で設置済。

○経口ワクチン散布演習の実施

令和 5 年に宮崎県（7 月）、佐賀県（11 月）で実施。
農林水産省、農研機構からも講師を派遣し、対応。



佐賀：佐賀新聞（11月11日）
福岡県、長崎県担当者も参加

	県協議会 設立日	全国協議会 加入日
福岡県	R5.10.23	R5.11.10
佐賀県	R5.10.3	R5.11.13
長崎県	R5.10.31	R5.12.5
熊本県	R5.10.31	未加入
大分県	R5.3.22	R5.3.27
宮崎県	R5.6.6	R5.10.20
鹿児島県	R5.12.25	R6.1.5

